

縄文人ののこした 16のカタチ

現代縄文アート
堀江武史展

2014年6月7日(土)~8月31日(日)

消えゆき、忘れ去られる寸前のカタチ。多くの人の目には留まらないカタチ。
私はそれを拾いあげて、錫箔をまとわせる。

〈ギャラリートーク〉

堀江武史氏による展示作品解説

■ 6月8日(日)午後1:30~2:00

〈縄文アートシンポジウム〉

『縄文スピリットからはじまる新しい創造』

—考古学と芸術を語る—

■ 6月8日(日)午後2:00~3:30

臼井洋輔氏 (日本考古学協会会員・元吉備国際大学文化財学部教授)

堀江武史氏 (修復家・縄文アーティスト)

猪風来氏 (縄文造形家)

■会場 猪風来美術館2階 (参加費=入館料のみ)